

## 会 議 録

会議の名称	第3回 枚方市事務事業総点検評価員会議
開催日時	平成25年10月15日（火） 18時30分から18時53分まで
開催場所	枚方市役所 特別会議室
出席者	正木啓子評価員、三木潤一評価員、和田聡子評価員
欠席者	-
案件名	(1) 二次評価及び最重点棚卸事業の決定について (2) 三次評価の実施について (3) その他
提出された資料などの名称	資料① 二次評価結果集計表（検討資料） 資料② 最重点棚卸事業選定シート 資料③ 今後のスケジュール（案）
決定事項	・平成25年度の最重点棚卸事業について決定 ・三次評価の実施について確認
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開
会議録などの公表、非公表の別及び非公表の理由	公表
傍聴者の数	なし
所管部署 事務局：	行政改革部行政改革課

## 審 議 内 容

### 開 会

座 長：それでは、定刻となりましたので、ただ今より、第3回 枚方市事務事業総点検評価員会議を開催いたします。

まず初めに、事務局から配付資料等について確認をお願いします。

事務局：それでは、資料の確認をさせていただきます。

まず、資料①二次評価結果集計表（検討資料）、資料②最重点棚卸事業選定シート、資料③今後のスケジュール（案）となっております。過不足等は、ございませんでしょうか。

事務局からは以上でございます。

### 案件（1）二次評価及び最重点棚卸事業の決定について

座 長：ありがとうございます。それでは、次第の案件に沿って、議事を進めたいと思います。

まず、案件（1）二次評価及び最重点棚卸事業の決定についてを議題とします。

事務局から、資料の説明をお願いします。

事務局：それでは、お手元の資料①二次評価結果集計表（検討資料）をご覧ください。

こちらの資料については、平成25年度の二次点検・評価対象事業として、昨年度に選定いただいた重点棚卸事業93事業と、前回、8月5日の第2回会議におきまして、平成24年度実施の新規事業から選定いただいた11事業を合わせまして、104事業を一覧で表示しております。

評価員の皆様には、最重点棚卸事業とすべき事業について、二重丸、もしくは一重丸でチェックをつけていただいております。二重丸とされた事業は、特に重点的に検証・評価すべきとしてチェックしていただいておりますことから、二重丸と一重丸の2段階でのチェックとなっております。このことから、この資料では、その事業に対して、何名の評価員の皆様が二重丸もしくは一重丸をつけたかを数字で表しております。

例といたしまして、行政改革課の事務事業総点検運営事務を例にしますと、最重点棚卸事業とすべきとして二重丸のチェックをされた方はいらっしゃらなかったんですけども、一重丸のチェックをされた方がお二人いらっしゃったといった形で記載しております。

続きまして、資料②最重点棚卸事業選定シートをご覧ください。

こちらの資料は、今回評価いただいた全ての事務事業名称を、部ごとに整理した資料となっております。最重点棚卸事業の欄は空白としておりますので、このあと、最重点棚卸事業を選定していただく際に、ご活用いただきたいと考えております。

説明は、以上となります。

**座 長**：ありがとうございます。それではまず、最重点棚卸事業の選定作業に入る前に、今回、二次評価、また膨大な資料が市から送られてきたわけですが、その二次評価を行った際の、各委員が資料を読まれた視点とか、あるいは、作業を行っているときの感想など、ございましたらお聞かせいただきたいと思います。

**評価員**：今回、100 前後の事業ということで、なるべく所管課に関してはバランスよくということもあったのですけれども、全体的に見て、私自身は地域振興部が、かなり事業名という部分であいまいなところが多かったと。それで中身を見ますと、やはり事業としてのネーミング、それと、何を一番この事業はしたいのだろうかという部分が見えなかったということで、私自身は、地域振興部、自分の専門ということもございますけれども、的を絞ったと言いますか。

初めはバランスよく見ていたのですが、市独自の事業という部分と、委託事業のあまりにも相手側に対して丸投げ的な部分も見受けられたという部分で、地域振興部と。あとは、市民の目という部分で、市民安全部がありますけれども、この事業も引っかけたものが多かったかなということで、私自身は、そのあたりの事業がかなり多かったということです。

あとの部分につきましては、土木系、管理系の部分は、ちょっと判断しかねまして、今回は特にチェックを入れていないということで、他の先生方が入れてらっしゃる部分もありますので、そちらの方で勘案しまして、また評価をさせていただきたいと思っています。

**評価員**：今回、またチェックを新たにすることに当たって見直しておりますと、やっぱり、全部気になることがあるからここに残っているということもあると思うんです。どの事業も、いろいろ気になる点はあったんですが、その中で、二重丸、丸をつけないといけないということで、私は、フィルターをどうやって自分でかけようかと思ったときに、金額がそれなりに大きいところ、もちろん、最後は小さいところもつけたりも若干あるんですけども、基本、その金額を配慮しました。

あと、視点としては、費用を税で賄ってやることなのかということが、一番の考えたことです。その上で、かけている費用に対して、内容自体が有効であるのかという、いわゆる費用対効果っていうようなことでどうなんだろうかというようなことも、考える際の基準として、選ばせていただきました。

あと、自分の関心のあるところというか、専門でやってきたことと絡んで、私は、他の先生方がおそらくつけないであろうというところを強調する意味で、特に環境事業部とかに注意を促したいということで、あえて二重丸を入れたという、そういうところもございます。

**座長：**私も、両先生と似たような感覚をすごく受けたわけなんですけども、それと、少し資料を読んでいて気になりましたのが、この取り組みの趣旨を取り違えていて、もう事業を消されるんじゃないかと。当然ながら、何の効果もないものはゼロになる可能性もあるんですが、私どもは、効率性とか、効果があるのかどうかとか、ゼロにするというよりは、いかに費用を少なく効果的に事業をできるんだというような見方をしているにもかかわらず、ちょっと趣旨を取り違えているような資料が、やっぱり書き方が気になったというのがひとつです。

それから、同じような意味合いで、もうひとつ取り違えがあるのではないかと思ったのが、「改善」という言葉です。改善の意味は、もっと効果的にというようなことでやっているにもかかわらず、その事業を大きくすることが改善であると。確かに、事業の担当課から見たらそうかもわかりませんが、同じ効果を持たせるのであれば、もっと安くできないか、あるいは、同じお金を使うなら、もっと何倍もの効果を得ることができないかと、そういう考え方じゃなくて、もっと全体の事業を大きくすることが改善であるというような感じの書き方が、少し気になったところです。

それで、もうひとつ気になった言葉が、資料の中で、市民のニーズということがあちこちで出てくるんですけど、大多数の市民のニーズなのか、この利益を直接受けてる方々だけのニーズなのか、そこは読んでいてすごく悩ましいところがありました。やはり、いろんな意味で弱者というか、弱い方たちというのは、その方たちのニーズをきちんと拾い上げないといけないんですけども、そうでない方々のニーズも、何か同じレベルで市民ニーズって言われてしまうと、ちょっとこの市民ニーズはどこにあるんだろうということで、かなり立ち止まったというところがございました。

**評価員：**それにつきまして、先生がおっしゃったことと同様で、私も、市民安全部、地域振興部が、一番丸が入ったというのは、まさにその市民ニーズという言葉が、その市民目線というのはどこに、というのは非常に気になりまして、本当に少ない少人数の市民、受益者が少ないところでの市民ニーズと言っている部分と、ちょっとその辺が一番気になったのが市民安全部と地域振興部。

それと、福祉部もそうなのですけども、ちょっとデリケートな部分もありまして、両先生は割と丸をつけてらっしゃるのですけれども、ちょっと私は、今回はほとんどつけて

はいないのですが、先生がおっしゃった市民ニーズをどこまで掘り下げるかという部分と、行政の所管課の方が思ってたことを記載されているシート内容の部分において我々との認識と差があると感じまして、私も何度読んでもちょっとわからなかった部分です。

**座長**：言葉はひとつなんですけども、そこの持つ意味がそれぞれで違いすぎて。で、市民ニーズを把握するためにその事業を利用している方のアンケートを取ったというんですけども、しかし、それは、自分のことを考えても、言い方は悪いんですけども、100円をくれるとなったら、それは嬉しいからもっとくださいっていう、そういうレベルのニーズもあるし、そうじゃなくて、本当に困ってらっしゃる方に、何とか我々のできることがないかという意味の市民ニーズもあるんだけど、これが同じ言葉であるというのは結構きついなと思いましたね。

これ以上言っていたら愚痴になるかもわかりませんが。

**評価員**：そこが一番迷ったところですね。

**座長**：そうしましたら、また、作業のときのいろんな悩みごととか感想とか、思い出しましたら随時ご意見をいただくということにいたしまして、各評価員の皆さんの評価結果をもとに、最重点棚卸事業の選定を行ってまいりたいと思います。

平成24年度に一度やっておりますので、考え方としては、その考え方ということでよろしいのでしょうか。参考までに、復習をいたしますと、この資料①で、事務局の方でまとめていただきましたけども、3人が二重丸のチェックをしているという事業を、これはみんなが棚卸しようという気持ちなので、すべて最重点棚卸事業といたしまして、その他に、二重丸が2人で一重丸が1人の事業と、それから、二重丸が1人で一重丸が2人の事業、ここまでは、とりあえず3人が、それぞれ問題があると言った事業なので、これは最重点棚卸事業であろうと。

それから、二重丸が2人という分については、各評価員の3分の2が問題であろうという判断をしたということなので、それも入れるということで、事業の選定をお願いしたいと思うんですけども。

**評価員**：それで結構かと思います。

**事務局**：そうしましたら、今、おっしゃった形で事業の選定を行いまして、それに当てはまる事業を読み上げさせていただきます。

資料②をご活用いただいて、空欄になっております最重点棚卸事業のところにチェック

をいただければと思います。

では、事業名称を読み上げさせていただきます。まず、市民安全部 市民活動課の「メセナひらかた会館施設維持管理事業」、「コミュニティ活動補助事業」、総務部 人事課の「職場外研修事務」、職員課の「職員福利厚生事務」、続きまして、地域振興部 生涯学習課の「生涯学習市民センター活動委員会事業」、文化観光課の「国内友好都市交流推進事業」、「花と音楽のまちづくり推進事業」、「文化振興事業」、産業振興課の「地域活性化支援センター運営事業」、農政課の「新規就農研修事業」、続きまして、福祉部 高齢社会室の「天川村・枚方市交流グラウンドゴルフ大会開催事業」、それから、社会教育部 スポーツ振興課の「枚方体育協会体育振興事業補助事業」、「スポーツ振興課所管体育施設維持管理事業」、以上となります。

**座 長**：そうしましたら、合計 13 事業で、今、事務局から読み上げていただきました事業について、最重点棚卸事業といたします。特段、先生方、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

#### 案件 (2) 三次評価の実施について

**座 長**：それでは、次に、案件 (2) 三次評価の実施についてを議題とします。  
事務局より説明をお願いします。

**事務局**：それでは、三次評価の実施について、ご説明いたします。

**資料③**今後のスケジュール (案) をご覧ください。

本日選定いただきました最重点棚卸事業につきましては、今後、10月下旬から11月上旬に、評価員会議の場におきまして、三次評価として、直接、担当課とのヒアリングを実施していただきまして、それぞれの事業について、今後の方向性などの評価を行っていただく予定としております。

また、評価結果に係る対応案の作成につきましては、今週末ぐらいに、今年度を実施いたしました一次・二次評価の対応案の作成を担当課の方に依頼します。

また、10月下旬から11月上旬にヒアリングを行っていただく予定としておりますけれども、そのヒアリング実施以降に、先ほど選んでいただきました13事業について、三次評価の対応案の作成を各所管課に依頼したいと考えております。

その後、市議会へは、11月下旬に、各所管部署より各委員協議会において報告を行い、12月以降にホームページ等に点検・評価結果、それから対応案を公表しまして、市民の意見を伺ってまいりたいと考えております。

座 長：ありがとうございます。ただいま、事務局から、三次評価の実施についてということで説明がありましたが、この中身で確認しておきたいような事項等がありましたら、ご質問いただければと思います。

(意見等なし)

座 長：去年、経験済みのことではございますので、今回も、公開ヒアリング等につきましても、スムーズにいけるように、こちらも努力したいと思います。  
各所管課の方も、こちらからの質問に答えられるようにしておいていただきたいなというふうに思います。あまりたくさんで来られるよりも、きちっとお答えになれる方のほうが。時間が短いので、お互いに実のあるヒアリングができるようにやりましょうということで、事務局から、所管課の方にもよろしくお願いいたします。

#### 案件 (3) その他

座 長：それでは、次の案件 (3) その他について、事務局から何か連絡事項などはありますか。

事務局：ちょっと先ほどもおっしゃっていただいたんですけれども、次回の会議は、三次評価といたしまして、今後のスケジュール (案) にもございますが、10月下旬から11月上旬に、担当課との公開ヒアリングという形で開催させていただきたいと考えております。日程につきましては、事務局で評価員のみなさまと調整させていただきまして、決まり次第、ご連絡させていただきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。  
以上です。

座 長：大体、1事業あたり何分で予定されていますか。

事務局：大体、30分ぐらいの目安かと。

座 長：去年と同じ形でやるということで、よろしいですね。

事務局：日程的には1日では無理だと思いますので、2日程度はかかると思います。  
よろしく申し上げます。

座 長：本日は、最重点棚卸事業の13事業の決定という、それが最大の目的でございまして、いよいよ、次回は日程が決まりましたら、公開ヒアリングに入るとということで、よろしく申し上げます。  
それでは、以上をもちまして、第3回評価員会議を終了したいと思います。

お疲れさまでした。